

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校 読売自動車大学校	昭和57年3月30日	榎本 俊弥	〒136-0071 東京都江東区亀戸2-28-5 (電話)03-3685-6761			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 読売理工学院	昭和45年1月31日	理事長 千葉 康文	〒108-0014 東京都港区芝5-26-16 (電話)03-3455-0221			
目 的	自動車社会の環境と安全を維持する優秀な自動車整備技術者を養成するため、現在の自動車業界に対応できる基本的な技術知識の教育を通じ、社会に貢献する人材の育成を行う。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	自動車整備学科	2年(昼)	2,263.2単位時間 (又は単位)	文部科学大臣告示 第34号 (平成19年2月22日)	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	723.8単位時間 (又は単位)	213.2単位時間 (又は単位)	21.0単位時間 (又は単位)	1292.0単位時間 (又は単位)	33.2単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	331人	17人	10人	27人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 秀、優、良、可、不可の五種で表し、 秀、優、良、及び可を合格とする。	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件	必修科目をすべて修得すること。 2年進級時限定教科10単位以上修得。 2年修了時に学科600h以上、実習 1200h以上を修得。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無 ■長期欠席者への指導等の対応 担任が中心に保護者の協力も得て指導			課外活動	■課外活動の種類 オリエンテーション、スポーツ大会 ■サークル活動 (有) 無	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 自動車ディーラー、保険会社、自動車メーカー ■就職率 ^{※1} 98.4% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 82.5% ■その他(任意) 卒業者の内6.7%が1級課程の3年次編入者及び大学等進学者である。 (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	二級ガソリン・ジーゼル・二輪 自動車整備士資格、乙種4類危険物 取扱者資格、	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 51名 ■中退率 14.4%</p> <p>平成27年4月1日在学者 352名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 301名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 出席状況が悪くなり授業内容が理解できず学習意欲低下。家庭の事情による学費の支弁困難、など。</p> <p>■中退防止のための取組 クラス担任による全員対象の個人面談や、必要に応じて保護者面談の実施。専任カウンセラーによる面談。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.yccm.ac.jp/</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

近年、自動車に搭載される技術の高度化が速くなっているため、最新の教材を毎年導入し実習内容の見直しを実施するとともに、自動車関連企業の技術者を兼任教員として招聘し実践的な教育を実施している。また、本校卒業生の就職先である自動車整備業界が必要とする人材を育成するために、学科授業において企業の職員に講師を依頼して授業を実施している。企業等と学校間の意見交換の場を定期的に設けることにより、企業との連携を強化することで教育課程改善のPDCAサイクルをより充実させる。(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年6月8日現在

名 前	所 属
榎本 俊弥	専門学校読売自動車大学校 校長
松島 俊一	一般社団法人 東京都自動車整備振興会 教育部 部長
今井 一之	株式会社関東マツダ サービス営業部 技術グループ
佐藤 広	株式会社関東マツダ 人材開発部 人材開発グループ
渡辺 宜男	専門学校読売自動車大学校 自動車整備学科 学科長
北村 眞一	専門学校読売自動車大学校 1級整備学科 学科長
鈴木 雄一郎	専門学校読売自動車大学校 教務委員長

(開催日時)

平成27年度 第2回 平成27年11月19日 15:30~16:30

平成28年度 第1回 平成28年 7月21日 15:30~16:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等の人材ニーズを活かし、自動車整備関連企業で必要となる実践的で専門的な能力を育成するために、実習・演習等の授業において組織的な企業等との連携により、最新の技術動向が反映された技術・技能を教育する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電気装置1	バッテリー、単体車体電装品	有限会社ウタシロ
エンジン6	電子制御式燃料噴射装置その2トラブル・シュート	有限会社ウタシロ
C総合実習2	実車によるシャシ関係の総合復習	有限会社ウタシロ
シャシ1	動力伝達装置 (T/M、クラッチ、D/F)	株式会社トライボジャパン
シャシ3	MT車のトランスミッション脱着、トランス・アキル	株式会社トライボジャパン
G総合実習	実車によるガソリンエンジン関係の総合復習	株式会社トライボジャパン

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

自動車整備分野の実務に関する研修として、東京都自動車整備振興会や全国自動車大学校・整備専門学校協会 (JAMCA) 並びに自動車メーカー等が開催する技術研修会に参加する。学生指導に関する研修として、東京都専修学校各種学校協会、東京都私学財団等の開催する研修会に参加する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年6月8日現在

名 前	所 属
今井 一之	株式会社関東マツダ サービス営業部 技術グループ
佐藤 広	株式会社関東マツダ 人材開発部 人材開発グループ
齋藤 春男	亀戸二丁目町会 会長
松本 等	三井住友海上火災保険株式会社 損害サポート業務部 技術部長
原田 友子	専門学校読売自動車大学校 2年 保護者

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.yccm.ac.jp/guidance/kankeisyahyouka26.pdf>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ、印刷物、学校案内書、学生募集要項

《平成27年度 教育活動その他の学校運営》 URL: <http://www.yccm.ac.jp/guidance/katudou-unnei27.pdf>

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
	○		PCプラクティス	顧客データの管理、伝票の作成など、多くの仕事にパソコンを利用しており、整備士もパソコンを使いこなす必要がある。表計算ソフト(エクセル)の使用法を中心に講義する。	1前	19.6			○	
		○	体育実技	球技を中心とした、体育実技全般を行い、運動能力と体力の増進を図る。	1後	14.4				○
	○		ビジネスマナー1	就職活動を行うために必要な一般的常識、マナーについて講義する。また、ソーシャル検定の取得を目標とした講義も行う。	1前	19.6		○		
	○		ビジネスマナー2	社会人として必要な一般的常識、マナーについて講義する。また、自動車販売会社の人事担当者による講義を実施し、企業が求める人材を把握する。	1後	19.6		○		
		○	日本語1	留学生を対象とし、聴解・読解・会話について、総合的な日本語能力の向上を目的に授業を実施する。	1前	19.6			○	
		○	日本語2	継続して日本語教育の必要である留学生を対象とし、日本語能力の向上を目的に授業を行う。	1後	21.0			○	
	○		危険物取り扱い法	乙種4類危険物取扱者試験に合格するための知識を身につけるための講義を行う。	1前	23.8			○	
	○		ガス溶接講習	自動車整備士として必要な基本的作業能力として、ガス溶接に関する知識を習得する。	1前	18.8				○
		○	英語	基礎文法を含め、基礎的な英語力を習得する。英語の読解・ヒアリング能力の向上を図り、英検3級程度の英語力を身につけることを目的とする。	1後	21.0			○	
合計					73科目		2283.2単位時間			

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
		○	ドライブング・レッスン	安全運転の技能、知識を身につけ、自動車の走行時の運動特性の基本を理解する。	1後	14.4		○		
		○	パソコン演習	「PCプラクティス」での基本的操作だけでなく、コンピュータに興味を持ち、知識を深めたい学生を対象に、MOS合格を目標に講義演習を行う。	1後	21.0		○		
	○		安全科学	自動車整備士が知っておくべき安全の知識を修得する。作業中の安全、災害時の対応、損害を受けた場合の保証の問題等について講義する。	1前	19.6		○		
○			図学基礎	自動車の構造、機能等を理解するためには図面を読みとる能力が必要となる。図面に対する約束ごとを講義し、プリントに従って演習を行う。	1前	19.6			○	
	○		自動車概論	将来自動車関連産業にかかわる者にとって必要な自動車の教養科目であり、自動車産業の成り立ちから、車社会の問題、自動車に係わる環境問題について講義する。	1前	19.6		○		
○			燃料と油脂	原油から精製されるガソリンや軽油、LPG等の燃料や、部品の潤滑に使用される潤滑油等、自動車の走行に重要な働きをする燃料・油脂の精製法や特性等を理解する。	1前	19.6		○		
	○		実験ゼミ	エンジンの動力実験や加速度実験など、自動車に関連した実験を行うことにより、自動車工学をより深く理解する。	1後	21.0				○
○			自動車材料	自動車部品は、要求される性質で、金属、非金属、ゴム、ガラス、プラスチックなどを使い分けている。要求される性質とそれに適合した材料及びその性質について講義する。	2前	21.0		○		
	○		電気工学	自動車の中で、重要な役目を担う電気装置を理解するために、電気磁気の基礎、直流、交流回路の基本的な理論を講義する。	1前	21.0		○		
合計					73科目		2283.2単位時間			

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
		○	電気工学演習	電気工学で学んだ知識について、演習と解説によってさらに理解を深める。	1後	21.0		○		
○			自動車工学1	自動車に関する基本的な構造や走行・停止の原理などを理解し、機械工学の基礎的な知識を学ぶ。	1前	19.6		○		
○			自動車工学2	計算の基本や単位の換算について、解説と演習による復習を行った後、自動車に関する基本的な機械工学計算について理解する。	1後	23.8		○		
○			自動車工学3	二級国家試験を年頭に置き、機械工学の基本を復習し、応用計算の講義と演習を行う。	2前	21.0		○		
○			自動車工学4	二級国家試験の工学問題について演習と解説を行い、機械工学の知識と応用計算力の向上を目指す。	2後	43.4		○		
○			エンジン・1	ガソリン・エンジン、ディーゼル・エンジンの基本的な構造・作動について講義する。	1前	18.2		○		
○			シャシ・ボディ1	自動車の基本運動性能である「走る、曲がる、止まる」の概要について、その機構の基本的な構造作動を講義する。	1前	19.6		○		
○			カー・エレクトロニクス1	自動車の電気装置のうち、エンジン電装品である、バッテリー、スタータ、オルタネータ等の基本を講義する。	1前	18.2		○		
○			ガソリン・エンジン2	ガソリン・エンジン内部の各構成部品の構造・役割を理解し、電子制御式燃料噴射装置やキャブレターなどの燃料装置の構造・機能について学ぶ。	1後	23.8		○		
合計					73科目		2283.2単位時間			

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ジーゼル・エンジン2	自動車用ジーゼルエンジンの燃料装置を中心に、ガソリン・エンジンと比較しながら、その構造と作動を理解する。	1後	23.8		○		
○			シャシ・ボディ2	動力伝達装置のマニュアル・トランスミッション、デファレンシャル、また、制動装置のドラム・ブレーキ、ディスク・ブレーキなどの構造と作動を理解する。	1後	21.0		○		
○			カー・エレクトロニクス2	始動装置・充電装置・点火装置の基本回路について解説する。また、ライトなどの車体電気装置にも触れ、電気装置に関するトラブル・シューティングの知識についても学ぶ。	1後	21.0		○		
	○		二輪基礎	燃料装置やサスペンション等について、二輪車に特有な装置の構造作動を解説する。	1後	21.0		○		
		○	カー・エンジニアリング演習	1年I期に学んだエンジン1、シャシ・ボディ1及びカー・エレクトロニクス1の復習を行い理解を深める。	1後	21.0			○	
○			ガソリン・エンジン3	二級自動車整備士にとって必要となる、最新型エンジンの技術について、その目的や必要性を含めて講義する。	2前	22.4		○		
○			ジーゼル・エンジン3	二級自動車整備士にとって必要な知識である、近年問題視されているジーゼル・エンジン排気ガス(PM、黒煙等)や新技術(コモンレールエンジン)について講義する。	2前	21.0		○		
○			シャシ・ボディ3	二級自動車整備士にとって必要な知識である、近年進歩がめざましい電子制御を応用した走行装置について講義する。	2前	22.4		○		
○			カー・エレクトロニクス3	二級自動車整備士にとって必要な知識である、各電気装置の特性やトラブル・シューティングについて講義する。	2前	21.0		○		
合計				73科目		2283.2単位時間				

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ガソリン・エンジン4	ガソリン・エンジンに関する二級自動車整備士試験問題の演習と解説を通し、エンジンの構造作動に関する理解を深める。	2後	43.4		○		
○			ディーゼル・エンジン4	ディーゼル・エンジンに関する二級自動車整備士試験問題の演習と解説を通し、エンジンの構造作動に関する理解を深める。	2後	40.6		○		
○			シャシ・ボディ4	シャシ・ボディに関する二級自動車整備士試験問題の演習と解説を通し、シャシに関する装置の構造作動に関する理解を深める。	2後	40.6		○		
○			カー・エレクトロニクス4	電気装置に関する二級自動車整備士試験問題の演習と解説を通し、電気装置の回路・作動に関する理解を深める。	2後	47.6		○		
○			総合整備法	今まで学だ専門科目の総仕上げとして、二級自動車整備士国家試験に100%合格できる実力を身につけることを目的とし、二級問題を中心に講義と演習を行う。	2後半	11.2				○
○			車検・法規1	自動車に関する法律の解説で、道路運送車両法、道路運送車両施行規則、自動車点検基準などを理解する。	2前	22.4		○		
○			車検・法規2	新規・継続検査の法令、道路運送車両法の保安基準、通達等を理解する。又、検査の実施方法、検査機器の構造、作動及び測定要領、検査実施上の注意事項を理解する。	2後	28.0		○		
合計				73科目		2283.2単位時間				

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			エンジン1	小型ガソリン・エンジンのオーバー・ホール	1前	38.0			○	
○			シャシ1	動力伝達装置 (T/M、クラッチ、D/F)	1前	38.0			○	
○			電気装置1	バッテリー、単体車体電装品	1前	38.0			○	
○			測定作業	ガス、マイクローメータ測定法、車両日常点検	1前	38.0			○	
○			工作作業	基本工作作業	1前	38.0			○	
○			二輪1	4サイクルエンジンのオーバー・ホール、動力伝達装置、CDI、キャブレター	1後上	60.8			○	
○			シャシ2	ブレーキ装置、走行装置	1後上	60.8			○	
○			シャシ3	MT車のトランスミッション脱着、トランス・アクスル	1後上	60.8			○	
○			エンジン2	小型ディーゼルエンジンのオーバー・ホール、測定作業、列型ポンプ	1後上	60.8			○	
合計					73科目		2283.2単位時間			

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			電気装置2	バッテリー、スター、点火装置	1 後上	60.8				○
○			二輪2	スクーターの動力伝達装置	1 後下	38.0				○
○			電気装置3	エンジン電装品、オシロスコープの取り扱い	1 後下	38.0				○
○			エンジン3	電子制御燃料噴射装置その1	1 後下	38.0				○
○			シャシ4	実車ブレーキのオーバーホール	1 後下	38.0				○
○			シャシ5	動力伝達装置及び走行装置(LSD, ステアリング, タイヤ)	1 後下	38.0				○
○			エンジン4	台上ジゼルエンジンのオーバーホール、V6エンジン、水平対向エンジン、ローリ・エンジン	2 前	60.8				○
○			エンジン5	電子制御式燃料噴射装置その2、トラブルシュート	2 前	60.8				○
○			電気装置4	実車車体電装品の回路と作動、トラブルシュート	2 前	60.8				○
合計					73科目		2283.2単位時間			

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			シャシ6	車検・定期点検、4輪ホイール・アライメント、外部診断機でのHV車ブレーキ液交換	2前	60.8				○
○			シャシ7	ATの構造作動、及び実車による点検、エア・ブレーキ	2前	60.8				○
○			二輪3	4気筒用キャブレタの脱着、点検、調整。フロントフォークのオーバー・ホール	2後上	45.6				○
○			電気装置5	シャシ電装品(エアコン等)及び予熱装置	2後上	45.6				○
○			エンジン6	列型・分配型インジェクション・ポンプ、ポンプ・テスト、電子制御装置、コモンレール式高圧燃料噴射装置	2後上	45.6				○
○			エンジン7	実車エンジン・セオパホル、過給器	2後上	45.6				○
○			シャシ8	ステアリング装置(P/S, EPS)	2後上	45.6				○
○			G総合実習	電子制御式燃料噴射装置その3	2後下	15.2				○
○			D総合実習	ジーゼルエンジンの燃料装置	2後下	15.2				○
合計					73科目		2283.2単位時間			

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			C 総合実習1	ATの総合点検	2 後下	15.2				○
○			C 総合実習2	ホイール・アライメント及びタイヤ・ホイールの総合点検	2 後下	15.2				○
○			E 総合実習	トラブルシューティング	2 後下	15.2				○
合計					73科目		2283.2単位時間			